

「共に育ちましょう」の教え

4月の参観日について、保護者の方々からたくさん感想をお寄せいただきありがとうございました。学校への期待の大きさを感じ



るとともに、学年懇談会を開催できませんでしたので、授業者も保護者の方々の感想を読み、今後の取組の励みとなりました。

その中で授業の始まりと終わりの挨拶についての感想をお寄せいただきました。本校では、数年前より全学年で授業の初めに「お願いします」、終わりに「ありがとうございました」と挨拶をしています。これは、本校出身の芦田恵之助先生の「共に育ちましょう」の教えによるものです。「お願いします」

「ありがとうございました」は、子どもたちが教えていただいた先生に感謝の言葉として伝えるのではなく、一緒に学ぶみんなに感謝の言葉として伝えていると捉えています。ただ、この挨拶に込めた想いを子どもたちに伝えきれていないのではとの声が前回の会議であがり、改めて子どもたちと挨拶の意味を共有する機会を持ったところです。授業の様子を観ていますと、写真のように友だちに体を向けて「お願いします」と挨拶するクラスも出てきていて、改めて貴重なご意見をいただいたなと感じております。



また、5月16日(月)は、竹田小学校の148回目の創立記念日でした。竹田小学校の歴史を紐解いてみますと、明治政府が学制



を公布した2年後の明治7年に下竹田中竹田両組合が一宮神社の一室を借りたのが始まりです。当時、校舎は『集成舎』と呼ばれていたようです。

その後、竹田尋常高等小学校、竹田国民学校、竹田村立竹田小学校等々、変遷し、校舎は昭和になり木造校舎、鉄筋コンクリート2階建と校舎改築が行われ、今の校舎は平成元年の校舎改築により、現在の場所に鉄筋コンクリート3階建と屋内運動場ができました。

14日開催のPTA主催の校舎見学会では、44名の方に参加いただきました。多くは前山小学校・あいいく園の保護者の方々でしたが、中には竹田小卒業生の方もいらっやって「小学〇年生の時に建て替わったんです。」「久しぶりに校舎内に入りました。」などの声も聞かせていただきました。